



令和5年度 全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の主な結果についてお知らせいたします。

【学力調査について】（見方：県、全国平均を上回っている△ほぼ同じ○下回っている△）

教科	観 点	県平均比較	全国平均比較
国 語	言葉の特徴や使い方に関する事項	△	△
	情報の扱い方に関する事項	△	△
	我が国の言語文化に関する事項	△	△
	話す・聞く能力	○	○
	書く能力	△	△
数 学	読む能力	○	◎
	数と式	△	△
	図形	△	△
	関数	△	△
	データの活用	△	△
英 語	聞くこと	○	○
	読むこと	△	△
	書くこと	△	△

※国語「読む能力」は、全国平均を上回っている。

《国語の分析》○成果●課題・今後の取組

○「読む能力」領域について、県や全国を上回った。特に、文章における表現の効果を適切に捉えたり、読み取ったことと自身の知識や経験とを結び付けて考えを広げたりする力が高い傾向にある。

●「話す・聞く能力」、「書く能力」、「言語についての知識・技能」の項目で力の定着が十分でない。特に、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの提示された情報と結びつけて思考する力に苦手がある。また、事象や行為、心情を表す語句などに対する語彙の定着度にも課題が見られる。



情報とを
する語彙

・文章における表現効果を正しく読み、協働的に読みを深める活動を引き続き行う。一方で、語句の意味について追求したり、自身の意見を裏付ける根拠を明確に話したり、分かりやすい文の構成にこだわって書いたりする活動を取り入れ、バランスのよい力を養いたい。

《数学の分析》○成果●課題・今後の取組

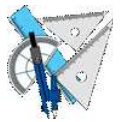
○問題場面の特徴（反比例）や考察の対象を明確に捉えることができている。

○分配法則を利用した文字式の計算を理解している。

●空間図形やデータの活用については、基本的な知識・技能の定着を図る必要がある。

●特に関数分野において、実生活と数学とを結びつけて考えることを苦手としている。

●記述式の問題に対する無解答率が高い。



・実生活の中で、身に付けた知識・技能がどのように利用されているのかを具体的に示す授業を多く展開する。仮定（最初からわかっている前提条件）と結論（最終的に導くもの）を明確にし、筋道を立てて説明する力の育成を目指す。

《英語の分析》○成果●課題・今後の取組

○聞くことについては県・全国を上回った。音や抑揚を捉えて音読したり、話したりする技能は全体的に高く、特に相手に伝えようとする技能は1～2年時より培ってきた力である。

●まとまった量の英文を読んで、概要を把握する力や英文を適切に正しく書く力が弱い。

・本年度は、基礎英文法の理解とコミュニケーションを通しての活用、教科書の英文を丁寧に読み解き、内容を伝えることに比重を置き、読むこと・書くことの技能を高める取組をしている。



【学習状況調査について】

項目	県平均比較	全国平均比較
国語への関心	◎	◎
数学への関心	◎	◎
英語への関心	△	△
総合的な学習への取組	◎	◎
生活習慣	○	○
自尊感情	△	△
規範意識	○	○
言語活動・読解力	◎	◎
学習習慣	△	△

《国語の関心》

「国語の勉強は好き」「国語の授業内容はよく分かる」と答える生徒が、県・全国平均を大きく上回った。「国語の勉強は大切だと思う」「将来、社会に出たときに役に立つ」と答える生徒が、県・全国平均とほぼ同じであった。

《数学の関心》

「数学の勉強は好き」「授業の内容はよく分かる」と答える生徒は、県・全国平均を上回った。「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答える生徒が、県・全国平均とほぼ同じであった。

《英語の関心》

「英語の授業は大切だと思う」「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答える生徒は、県・全国平均をやや上回った。「英語の勉強は好き」「英語の授業の内容はよく分かる」と答える生徒が、県・全国平均を下回った。

《総合的な学習への取組》

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む」と答える生徒は、県・全国平均を上回った。地域の方からの協力を得て、天城学習でスキルを身に付けている。

(天城中学校81. 8 県平均 77. 6 全国平均 72. 6)

《生活習慣》

「毎日、同じ時間に寝ている」と答える生徒が、県・全国平均を下回っているものの、「毎日、同じ時刻に起きている。」と答える生徒は、県・全国平均をかなり上回った。遅刻する生徒はほぼいない。一方、「朝食を毎日食べています」と答える生徒は、県・全国平均を下回っている。生活習慣で大切なのは、「は・は・あ」早寝・早起き・朝ご飯である。

《自尊感情》

「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」と答える生徒は、県・全国平均を上回った。一方、「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒は、県・全国平均を下回った。また、「学校へ行くのは楽しい」と答える生徒が7割程度で、県・全国平均をかなり下回った。



《規範意識》

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答える生徒は、県・全国平均と同じであった。

《言語活動・読解力》

「自分の考えを発表する機会では、自分の意見がうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫した」と答える生徒は、県平均を大きく上回り、さらに全国平均も上回った。

《学習習慣》

「学校の授業時間以外に、(平日・休みの日)1日当たりどれくらいの時間勉強するか」について、県平均・全国平均よりも家庭学習の時間が短い。本校生徒で、もっとも多かったのが、平日では1時間以上2時間未満、休日は2時間以上3時間未満である。

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答える生徒は、県・全国平均を下回った。

《学校より》

結果をもとに、本校は家庭学習の充実を目指し、各教科から出される課題の工夫、より主体的な学習の取組となるように指導してまいります。

「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と答えた生徒が、県・全国平均を大きく上回りました。学校が楽しく、自尊感情の高まりのつながるよう、さらに、生徒に寄り添う指導を目指してまいります。